

教育委員会会議録

令和7年11月定例会

教育委員会議事録
(令和7年11月定例会)

- | | | | | | |
|---|------|--|---|--|--------------------------------|
| 1 | 日付 | 令和7年11月27日(木) | | | |
| 2 | 場所 | えびなこどもセンター 2階 201会議室 | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員 | 伊藤 文康
武井 哲也 | 教育委員
教育委員 | 藤吉 ひとみ
海野 望 |
| 4 | 出席職員 | 教育部長

教育部次長

教育部参事兼教育総務課長

教育部参事兼就学支援課長兼指導主事

教育部参事兼学び支援課長

就学支援課主幹兼就学支援係長 | 江下 裕隆

吉川 浩

近藤 直樹

山田 圭

田中 歩

菅野 英輝 | 教育部教育支援担当部長兼教育支援担当次長事務取扱兼教育支援課長事務取扱

教育部参事兼教育総務課文化財担当課長兼文化財係長事務取扱兼郷土資料館長兼歴史資料収蔵館長

教育部参事兼教育支援課教育支援担当課長兼教育支援センター所長兼指導主事 | 麻生 仁

押方 みはる

小藺 洋 |
| 5 | 書記 | 教育総務課総務係長 | 小林 亮介 | 教育総務課主事 | 檀上 哲史 |
| 6 | 傍聴人 | 0名 | | | |
| 7 | 開会時刻 | 午後3時01分 | | | |

8 付議事件

(1) 教育長報告

(2) 報告事項

日程第 1 報告第 25 号 令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第5号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

日程第 2 報告第 26 号 令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について

日程第 3 議案第 27 号 工事請負契約の変更に関する意見の申出について

日程第 4 議案第 28 号 令和7年度全国学力・学習状況調査の公表内容について

(4) 審議事項（非公開案件）

日程第 5 議案第 30 号 個人情報開示決定（一部開示）に係る審査請求に対する裁決について

9 閉会時刻 午後4時17分

○伊藤教育長 本日の出席委員は私を含め4名でございます。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会11月定例会を開会いたします。

本日、傍聴人はいません。本定例会の議事録署名委員は、武井委員、海野委員にそれぞれよろしくお願ひします。

初めに、教育長報告をいたします。

主な事業報告でございます。

10月21日（火）は、前回の教育委員会10月定例会がありました。子育て支援チーム会議、校長オンラインミーティング、臨時の校長会議があつて、海老名市医師会理事会に出席いたしました。

22日（水）は、架け橋プログラム推進委員会、中新田小学校でフルインクルーシブ教育保護者との対話の場、23日（木）はフルインクルーシブ教育朝会で柏ヶ谷小学校に行きました。この日、海老名中学校・大谷中学校・今泉中学校で体育祭が行われました。C O・S C・S S W連絡会がありました。

24日（金）は、柏ヶ谷中学校で体育祭が行われたところでございます。

25日（土）は、食育ポスターコンクール表彰式とえびな郷土芸能祭が行われました。

26日（日）は、皆さんにも出席いただいて総合教育会議、終わった後に学童保育チェーンマC L U B 35周年記念式典に招かれました。

27日（月）は、有鹿小学校でフルインクルーシブ教育朝会とよりよい授業づくり学校訪問をさせていただきました。この日、東柏ヶ谷小学校で運動会が行われました。最高経営会議がありました。

28日（火）は、ここに実行委員長の海野委員がいるのですが、柏ヶ谷中学校開校50周年記念式典・祝賀会がありました。

29日（水）は、海西中学校で体育祭、不登校支援団体連絡会、学校I C T活用推進委員会がございました。

次の2ページ、3ページを見ると本当よく働いていると思うぐらいずっとあるので、読み上げてもしようがないとは思っているのですが、取りあえず、30日（木）は、市長定例記者会見、フルインクルーシブ教育推進調査研究部会、令和8年度予算編成に係る校長会代表者との協議、31日（金）は皆さんにも来ていただいた小学校連合運動会がありました。この日の夜は海老名警察署との意見交換会がありました。

11月に入って1日（土）はえびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムとい

うことで、皆さんにも見ていただきました。

3日（月）は、市制施行54周年記念式典でした。文化スポーツ賞贈呈式も行われました。

4日（火）は、社家小学校で朝のあいさつ運動、神奈川県教育委員会子ども教育支援課の面会がありました。今日、報告がありますが、学力・学習状況調査結果説明会が行われました。

5日（水）は、海小研教育講演会がありました。

6日（木）は、海老名中学校でフルインクルーシブ教育朝会、11月校長会議がありました。

8日（土）は、ひびきあい塾閉校式、長崎県人会10周年記念祝賀会に呼ばれました。つつ木元市議会議員が長崎県出身なので、そういう関係ではないかなと思っています。

○武井委員 なるほど。

○伊藤教育長 その夜、夕方から親子ナイトウォークラリーがあって、1000人近い人たちが集まって、盛大に行われました。

9日（日）は、えびなロボットコンテストがありました。

10日（月）は、杉久保小学校でフルインクルーシブ教育朝会、11日（火）は初任者研修拠点校指導員連絡会がありました。フルインクルーシブ教育保護者との対話の場（親子の育成会）で、障害者の支援団体の方たちと話をしました。中学生登別市訪問団結団式がありました。生徒達は、今日の朝、登別市に行ったのですが、海西中学校の子と有馬中学校の子、2名ずつ、佐藤指導主事が連れていったのですが、有馬中学校の子の1人がインフルエンザにかかってしまったので、3名で出発しました。

12日（水）は、今泉小学校のフルインクルーシブ教育朝会をオンラインで行いました。杉久保小学校のインフルエンザによる学級閉鎖が終わった後に学級閉鎖がたくさん増えて、さすがにみんなを体育館に集めることができなくなってしまったので、この後もオンラインでやるしかないかなと考えているところでございます。今日この後の報告ですが、海老名市議会臨時会がありました。11月教頭会議、フルインクルーシブ教育保護者との対話の場で上星小学校に行きました。

13日（木）は、全国都市教育長協議会常任理事会・理事会ということで、東京都に行ってきました。

14日（金）は、門沢橋小学校で初任者研修授業参観があり、2人の初任者の授業を見

てきました。縣市町村教育委員会連合会研修会ということで、綾瀬市で行われました。藤吉委員と海野委員のお二人はご出席いただきありがとうございます。私は途中で退席させていただきました。申し訳ございません。高座退職校長会情報交換会ということで、O Bの方々と懇親を深めたところでございます。

15日（土）は、杉久保小学校で運動会、フルインクルーシブ教育保護者との対話の場が大谷小学校と海老名小学校で行われました。

16日（日）はえびな市民まつり、17日（月）は、上星小学校のフルインクルーシブ教育朝会をオンラインで行いました。

18日（火）は、最高経営会議と自治体DX戦略本部会議、メンバーが同じですので、続けて行われました。現職教育運営協議会で来年度の先生方の研修についての話し合いを行ったところでございます。午後から大谷中学校区外国語教育研究公開授業が行われました。今、大谷中学校の体育館が使えないので、大谷中学校の生徒が大谷小学校に来て、体育館で英語の授業を受けました。私が有馬中学校に教師でいたときの3年1組の生徒が教員になって授業をしました。心配で心配で、眠れなかったです。

19日（水）は小学校1年生の教室の見直しに係る打合せということで、来年度、どこかの小学校の1年生の教室を今まで見たことがないような教室に変えようかなと思って、必死になって考えているところでございます。

21日（金）は、海老名市フルインクルーシブ教育推進協議会が行われました。

22日（土）は、今年最後の運動会が柏ヶ谷小学校でありました。

23日（日）は、統計グラフコンクール表彰式、学校給食献立コンテスト表彰式がありました。

25日（火）は、海老名小学校でよりよい授業づくり特別版がありました。

26日（水）は、有馬中学校でフルインクルーシブ教育保護者との対話の場、子育て支援チーム会議、びなる一むカレー。教育支援教室びなる一むの子たちがここでお昼のカレーを作って、教育委員会の職員に販売し、食べてもらいました。

今日、27日（木）は、教育委員会11月定例会、教育課題研究会、午前中は市長定例記者会見がありました。朝に中学生登別市訪問団見送りがあり、その後、小学校支援級合同宿泊出発式がありました。4年生の支援級の子たちが今、愛川ふれあいの村に泊まりに行っていて、楽しそうに出発したのですが、心配ではないのかなと思い聞いたら、1人か2人ぐらい、おうちから離れるのが心配だという子が手を挙げてくれました。でも、保護者

の方は1日ぐらい気を抜いて、楽になるのかなと思っているところでございます。

以上が主な事業報告でございますが、よく頑張ったと思います。

○武井委員 お疲れさまでした。

○伊藤教育長 次は「こどもたちに楽しんでもらう」ということで、私自身は、子どもたち、よく学校に来るなといつも思っていて、朝のあいさつ運動やいろいろなことで車で学校に向かっていると、子どもたち、みんなランドセルを背負って、雨の日でも、風の日でも行くではないですか。大したものだなと思って、本当に感心しています。だから、私自身は、学校に来たら、先生たち、いらっしゃいませぐらい言えよと。そういう気持ちのことがあります。例えばスーパーか何かでも、みんな迎えるでしょう。授業だって、特別授業等、いろいろ工夫して、やっているわけなんだから。学校は何でそういったことをしないんだろうなと思います。私の感覚ですよ。自分が子どもの頃は学校が大嫌いだったのですが、それでも行かなければいけないと思っていたから、行っていただけです。そうしたら迎えてくれよと。そのことがずっと書いてあるのですよ。だから、子どもたちが学校に来てくれるのだから、本当によく来たねと迎えて、ありがとうというぐらいの気持ちでいてほしいのです。

もちろん学校の教育自体は、親は通わせなければいけない義務が憲法で定められていて、就学の機会均等という権利もあるのですが、実際に学校に来たら、来ている子どもたち1人1人にサービス精神で教員も迎えてほしいです。私が最初に教員になった頃は、業間休みになったら、みんなにお菓子を配ろうと思ったらすごい怒られました。だって、せっかく学校に来てくれるのだから、途中の休みのときにお菓子ぐらい食べさせてもいいではないかと思うのです。

学校の感覚として当然にサービス精神を持ってほしいのです。急にそうなれとは言わないが、そういう感覚で学校は子どもを迎えないと、選択が自由になると、おそらく誰も来なくなるのではないかと思うのです。学校は友達がいるから来るのであって、給食だったり楽しい時間だから。別に先生に怒られに来ているわけではないし、集団の学び方は勉強しなければいけないが、そのときに、例えばこういう基準か何かを先生に言われて、学習目標等にそぐわないと悪い人間みたいに怒られるから、それは幾らなんでもないだろうなと。皆さんだったら言えるのですが、これを学校で言ったら大変なことになりますから。

○武井委員 教育長は言えない。

○伊藤教育長 でも、そうやって子どもたちを迎えて、子どもたちのためにどうしたら楽

しんでもらえるかということなどを常にいろいろ考えるのも教員の仕事ではないかなということとで今日は書いてみました。

これは以上ですので、感想は求めません。

あとは教育長だよりということで、そこに10月の先生方に送った便りが書いてあります。

それでは、報告事項に入ります。

日程第1、報告第25号、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第5号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○**教育部長** それでは、資料1ページをご覧ください。報告第25号、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第5号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてご説明申し上げます。こちらは、11月12日に開催されました令和7年第5回海老名市議会臨時会に上程いたしました令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第5号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について、急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し行ったことを報告いたしますのでございます。

資料の2ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。先ほど申し上げたとおり、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件は、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第5号）のうち教育に関する部分でございます。

4、海老名市長からの意見照会につきましては資料3ページ、5、教育委員会からの申出文書につきましては資料4ページのとおりでございます。

資料2ページへお戻りください。6、根拠法令（抜粋）につきましては後ほどご覧いただきたく存じます。

続いて、資料5ページをご覧ください。令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算

(第5号)教育委員会所管部分の資料でございます。

1、歳入歳出予算補正の(1)歳出でございます。主に人事院勧告、また、県の人事委員会勧告、それと神奈川県最低賃金額の改定に基づく給与改定に伴いまして、教育委員会各課の事業に係る人件費の増に対応するため、増額等による補正予算の内容となっております。

なお、正規職員に係るものにつきましては職員給与費として所管は職員課、会計年度任用職員等に係るものは各事業費として各所管課で計上しているものでございます。また、資料5ページに記載しております10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、細目2事務局管理経費、細々目1教育委員会事務局経費につきましては、予定していた事務専門員の任用がなかったということで減額補正としております。

大変雑駁ではございますが、説明は以上でございます。

○伊藤教育長 これは11月の臨時会でもう既に承認されたものなのですが、これを見ると、栄養士、指導員、心の教室相談員、学校用務員、安全監視員、部活動指導員といった本当に子どもたちのために教育委員会で働いていただいている方の給与です。社会教育指導員、つくってあそぼうの人たちの給与は、人事院勧告に基づいて値上げということではないですが、引き上げられたということでございます。

教育部長、急に聞いて悪いですが、教育委員会だけで補正額は全体で幾らですか。

○教育部長 教育委員会だけで約1500万円です。

○武井委員 市全体だったら億レベルですか。

○教育部長 職員の給与費も入りますので、億です。

○武井委員 その部分は国が定めた賃上げの部分を正確な数字で乗せる感じですか。

○教育部長 そうです。職員の給与費については国の人事院が定めた金額の表に基づいて当てはめたものになっています。

○伊藤教育長 教育部長は職員課長だったから聞くのですが、これは市町村で違うのですか。

○教育部長 基本は変わりません。

○伊藤教育長 会計年度任用職員は、例えば綾瀬市で働いている人と海老名市で働いている人とでは給与が違うのですか。

○教育部長 違います。

○伊藤教育長 海老名市はいいのですか。

○教育部長 海老名市はいいほうになります。

○伊藤教育長 それならいいが。

○教育部長 やり方はそれぞれあると思うのですが、職種によってそれぞれ違います。教育委員会ではいろいろな技能が必要な職種があるので、それぞれで単価を設定します。そういうところは各市でばらばらになります。

○伊藤教育長 でも、海老名市はいいほうだということで安心いたしました。

○海野委員 部活動指導員やソーシャルワーカー等の人数が少しずつ増えていっているの
で、そういう意味では、こういうところの負担金は増えているということになるのでは
うか。

○教育部長 部活動は今、働き方改革というところもありますし、それぞれ部活のやり方
や合同部活動等もいろいろありますが、やはり先生方の負担軽減となっていて、部活動指
導員を少し増やしています。ただ、部活動指導員は、国、県から3分の2の補助が入りま
すので、あとは神奈川県も予算がしっかりあれば、国、県から3分の2の補助が入るよう
なスキームにはなっております。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等もないようですので、報告第25号を承認することにご異議ござ
いませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第25号を承認いたしま
す。

続いて、日程第2、報告第26号、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第
6号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料8ページをご覧ください。議案第26号、令和7年度海老名
市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出につ
いてご説明を申し上げます。こちらは、令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第
6号）のうち教育に関する部分に係る意見の申出について、急施を要したことから、海老
名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時

に代理し行ったことを報告いたすものでございます。

資料9ページを御覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。先ほど申し上げたとおり、その対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件ですが、12月2日から開会されます令和7年第4回市議会定例会に上程いたします令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）のうち教育に関する部分でございます。

4、海老名市長からの文書につきましては資料10ページ、5、教育委員会からの申出文書につきましては資料11ページのとおりでございます。

資料9ページへお戻りください。6、根拠法令（抜粋）につきましては後ほどご覧いただきたく存じます。

続いて、資料12ページをご覧ください。令和7年度海老名市一般会計歳入歳出補正予算（第6号）教育委員会所管部分の資料でございます。

1、歳入歳出補正予算補正の(1)歳入でございます。14款国庫支出金、2項国庫補助金、6目教育費国庫補助金、4節社会教育費補助金、細節4子ども・子育て支援事業費でございます。所管課は学び支援課でございます。補正前額は2億1031万4000円、補正額は1587万円で、補正後額は2億2618万4000円でございます。補正理由といたしましては、国、県の補助メニュー額の引上げ等に伴い、学童保育事業者に対する補助を増額したためでございます。

15款県支出金、2項県補助金、7目教育費県補助金、3節社会教育費補助金、細節1子ども・子育て支援事業費でございます。所管課は同じく学び支援課でございます。補正前額は2億1031万4000円、補正額は1452万円で、補正後額は2億2483万4000円でございます。補正理由につきましては、先ほど国庫支出金で申し上げた内容と同様でございます。

続きまして、同じく細節18指定天然記念物保存修理事業費でございます。所管課は教育総務課でございます。補正前額は42万円、補正額は12万5000円で、補正後額は54万5000円でございます。補正理由といたしましては、県の指定天然記念物「有馬のはるに

れ」の損傷を防ぐ予防的措置を行いたいためでございます。以上が歳入の説明となります。

続きまして、資料13ページをご覧ください。(2)歳出でございます。10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、細目2事務局管理経費、細々目13教育支援総務管理経費でございます。所管課は教育支援課でございます。補正前額は269万8000円、補正額は29万4000円で、補正後額は299万2000円でございます。補正理由といたしましては、相模原市立夜間中学校に在籍する海老名市在住者数に応じた負担金の見込額が確定したことに伴いまして補正するものでございます。

続きまして、同じく細目8ICT教育推進事業費、細々目1ICT教育推進事業費でございます。所管課は教育支援課でございます。補正前額は4億1040万1000円、補正額は943万3000円で、補正後額は4億1983万4000円でございます。補正理由といたしましては、学校に設置しておりますWi-Fiのアクセスポイントのライセンス期間満了に伴い、1年間、その期間を更新するためでございます。

続きまして、同じく3目学校給食費、細目3学校給食単独校維持管理経費、細々目1東柏ヶ谷小学校給食施設維持管理経費でございます。所管課は就学支援課でございます。補正前額は3468万円、補正額は29万8000円で、補正後額は3497万8000円でございます。

続きまして、同じく細目4食の食の創造館関係経費、細々目2食の創造館維持管理経費でございます。所管課は就学支援課でございます。補正前額は6億7315万円、補正額は566万6000円で、補正後額は6億7881万6000円でございます。補正理由といたしましては、いずれも最低賃金引上げの影響等に伴いまして、小中学校給食調理等業務委託に係る契約を変更するためでございます。

資料14ページをご覧ください。10款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費、細目3社会教育推進事業費、細々目11学童保育支援事業費でございます。所管課は学び支援課でございます。補正前額は6億9652万6000円、補正額は6199万4000円で、補正後額は7億5852万円でございます。補正理由といたしましては、学童保育事業者に対する補助金について、国、県による補助メニュー額の引上げ等があり、当初の見込みを上回ったため、それと併せて、令和6年度の国庫補助金について実績額が交付額を下回ったことにより返還する必要が生じたためでございます。

続きまして、同じく細々目17ライフ・スタディーサポート事業費でございます。所管課は学び支援課でございます。補正前額は3016万3000円、補正額は201万8000円で、補

正後額は3218万1000円でございます。補正理由といたしまして、昨年度、令和6年度に概算で交付を受けました国庫補助金について、実績額が交付額を下回り、返還する必要が生じたためでございます。

続きまして、同じく2目文化財を保護費、細目3文化財保護活動事業費、細々目1文化財保護事業費でございます。所管課は教育総務課でございます。補正前額は1305万1000円、補正額は25万1000円で、補正後額は1330万2000円でございます。補正理由といたしましては、県指定天然記念物「有馬のはるにれ」の定時観察の結果を受けまして、損傷を防ぐ予防的措置等を行うためでございます。以上が歳出のご説明となります。

続きまして、資料15ページをご覧ください。2、債務負担行為補正（追加）でございます。内容につきましては大きく2点ございます。

まず、上から1つ目の海老名市立小・中学校行事に係るバス借上げ、そして4つ目の海老名市立小学校行事に係るバス借上げ、5つ目の海老名市立中学校行事に係るバス借上げでございます。所管課は教育支援課でございます。理由といたしましては、海老名市立小中学校の行事实施に当たりまして、翌年度以降の分を年度内に契約し、年度をまたいで実施したいためでございます。

続きまして、上から2つ目の海老名市立東柏ヶ谷小学校給食調理等業務委託、3つ目の海老名市立小・中学校給食調理等業務委託（食の創造館・食の創造館別館）ですが、所管課は就学支援課でございます。理由といたしましては、最低賃金の引上げの影響に伴う変更契約を行うために必要な経費について、翌年度以降の人件費の増加分を年度内に契約し、年度をまたいで実施したいためでございます。期間、限度額、理由等についてはご高覧いただければと思います。

以上、大変雑駁ではございますが、説明は以上とさせていただきます。

○伊藤教育長 ただいまの説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武井委員 14ページのライフ・スタディーサポート事業なのですが、国庫補助金について、実績額が交付額を下回りということなのですが、これは、対象者が少ないのか、どういった理由があるのか、教えていただきたいと思っております。

○学び支援課長 令和6年6月に西部地区が新たに開設されまして、全ての中学校区で授業が実施されることになった反面、前年に開設された南部地区で不用額が発生した状況になってございます。また、学習補助をされる指導員の人件費の見込みが若干下回ったとこ

ろでございます。

○武井委員 なるほど、ありがとうございます。

○伊藤教育長 減ってはいるのですが、そこで働くというか、指導員をやってくれる人件費がちょっと下回ったということです。

授業の内容等はしっかりとできているんですね。

○学び支援課長 そうです。

○海野委員 15ページにバスのことがあります、相変わらずバスの価格は上がっているということですね。小学生等が水泳学習に行くのに使っているとかいうのですが、歩いて行ってしまう学校もあるのですか。

○伊藤教育長 杉本小学校と柏ヶ谷小学校は歩くのでしたか。

○教育支援担当部長 杉本小学校は歩きます。

○伊藤教育長 寒い時期もプールに行きますよね。

○海野委員 1学年の子で年間に3回等、回数が決まっているのですね。あれは時間なのですか。

○教育支援担当部長 おっしゃるとおり3時間、高学年は少し減って2時間です。

○海野委員 授業時間が長いのは準備に時間がかかるとか、そういうことなのですか。

○教育支援担当部長 そうですね。15分ぐらいで行ける範囲で行っているのですが、行き帰り、トータルで考えると授業時間として2コマ程必要となります。

○伊藤教育長 コマ数で言うと2コマ程で、本来なら、1つの指針としては、各学年5コマ、10時間ぐらいでやるのが1つの基準とはされているのですが、この前、新聞を見ていたら、普通に学校にプールがあるところも、暑過ぎて、実際は3コマほどしかできないことがあるのです。あと、ゼロの場合もあるみたいで、要するに夏の間はプールだと、逆に今は熱中症があるからできないとのこと。そうすると、昔と違って今は気象条件がこういう状況なので、市町村の中ではプールの時間を確保するために屋内の場所を設定するという方向で動いています。私、そのときの担当だったので全部調べたのですが、プールを屋内に移動するとき夏の間、学校で開放しているところは別ですが、雨が降ったり、気温が低かったりして、10時間で設定していても、大体6時間ぐらいしかやれないので、外の場合は気象条件によるので、子どもたちは先生が水温をはかって戻ってくるのを待っていて、今日はできるぞ、今日はできないぞと。それは1つ面白かったといえば面白かったが、そういうことがありました。

○武井委員 ありましたね。

○伊藤教育長 逆に言うと、屋内なら、時間数は限られますが、確実に実施できるということが1つメリットだと思います。

○藤吉委員 今の水泳は先見の明があったのかなと思います。最初、学校でプールがないなんてと思ったのですが、今思うと、暑いときにぱっとやれたら楽しいなと思ったのですが、屋内の利用のほうが確実にできていいのかなとは思いますが。

1つ目の小中一貫を検討している有馬地区ですか。先ほど小学校が中学校に行く。昔は歩いて行っていた気がします。門沢橋小学校の子と社家小学校の子で歩いて部活動体験に来ていたという記憶があるのですが、やはりそれは時間という問題ですか。

○伊藤教育長 限られた授業時数の中で、遠足ならいいのですが、そうではないので、そこで活動を保障するためには移動をスムーズに行うことになっています。

○武井委員 移動時間を短くしたのですね。

○藤吉委員 バス1台で行けるぐらいの感じですか。2台ですか。

○伊藤教育長 2台ですね。

○藤吉委員 なるほど、分かりました。

○伊藤教育長 藤吉委員は歩いて行っていたのですか。だって、有馬小学校だもの、受けるほうでしょう。

○藤吉委員 ご苦労さまと思って見ていたのですが、何時間もかかるではないですか。行ったり来たりで。2時間では終わらないので。

○武井委員 2コマ潰れてしまう。

○藤吉委員 門沢橋小学校も社家小学校も、午前中かけて歩いて来ていたような気がしました。いつ頃からバスになったのですか。

○伊藤教育長 随分前だろう。

○伊藤教育長 有馬小学校にいたのは何年前ですか。

○藤吉委員 20年近く前ですね。

○海野委員 学童保育のほうで、先ほど事業者増とってなっていましたが、どのぐらい増えたのですか。また、ICTのほうで1年間更新となっていますが、今までも1年で更新していたのか、今回だけなのかというところを教えてください。

○学び支援課長 学童保育に関しましては、今年度4月に1事業所増えました。今年度内に新設の予定が1支援単位ございまして、今泉小学校と有鹿小学校で1つずつというところ

ろです。もう1つ、大谷小学校区での相談が1つありますので、そちらに対応していきたいと考えております。

○**教育支援担当部長** いわゆるG I G A端末の導入の際に、5年間で契約したのですが、この先も5年間にすると、いろいろな変化もあるだろうと考えています。また、5年間の契約をしてもそんなにスケールメリットがないことが分かったので、取りあえず1年契約として、また大きく何か変わる、何か開発される際に対応できるように、この先は1年ずつ刻んで契約していこうかなという意味合いでございます。

○**伊藤教育長** I C Tは本当に変革というか、次々に新しくなりますので、1年ごとで今後は進めたいということです。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○**伊藤教育長** ご質問等もないようですので、報告第26号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○**伊藤教育長** ご異議なしと認めます。よって、日程第2、報告第26号を承認いたします。

続いて、日程第3、報告第27号、工事請負契約の変更に関する意見の申出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○**教育部長** それでは、資料16ページをご覧ください。報告第27号、工事請負契約の変更に関する意見の申出についてでございます。こちらは、工事請負契約の変更に関する意見の申出について、急施を要したことから海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し行ったので、同条第2項の規定により報告いたすものでございます。

資料17ページをご覧ください。1、概要でございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、海老名市長から意見を求められたため、異論なしとして申出を行ったものでございます。

2、教育長の臨時代理でございます。先ほど申し上げたとおり、対応に急施を要したことから、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規

定に基づき、教育長が臨時に代理し、申出を行ったものでございます。

3、意見を求められた議会の議決を経るべき案件は、海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事における工事請負契約の変更についてでございます。

4、海老名市長からの文書につきましては18ページ、5、教育委員会からの申出文書につきましては21ページのとおりでございます。

資料17ページへ戻りください。6の根拠法令（抜粋）につきましては、後ほどご高覧いただきたく存じます。

なお、詳細につきましては、近藤教育総務課長からご説明いたします。

○教育総務課長 海老名市立有馬中学校校舎外装改修工事におけます工事請負契約の変更の概要についてご説明します。

資料19ページをご覧ください。本案件に関する事務手続につきましては、先ほど江下教育部長からご説明申し上げたとおりでございます。また、この工事につきましては、令和7年3月の教育委員会定例会において、既にご確認いただいている内容であることから、工事に係る契約の目的、契約の方法、契約の相手方につきましては資料19ページに記載のとおりですので、ご高覧いただきたく存じます。

次に、資料20ページをご覧ください。変更理由でございます。変更契約の理由としては大きく2点ございます。

1点目は、足場をかけた後に施工前調査を行った結果、外壁と外部鉄骨階段について、補修範囲の変更が生じたことに伴って数量等を見直したことによるものでございます。

2点目は、契約の相手方から、工事請負契約約款第26条第6項の規定に基づく請負金額の変更請求があり、労務単価等の変動を反映したことに伴いますインフレスライド条項を適用したものでございます。これらの変更によりまして、契約金額を改めて精査した結果、原契約金額の2億1891万1000円に変更工事にかかる費用1041万9200円を増額し、契約金額総額は2億2933万200円としたものでございます。

大変雑駁ではございますが、説明は以上となります。

○伊藤教育長 ただいまの説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武井委員 外壁と外部鉄骨階段の補修範囲が増えたということなのですが、引渡しとか工事の最終的な部分に関しては変更はないのか、お伺いしたい。

○教育総務課長 今回は、工事内容の見直しにより、金額に変更が生じたものでございま

す。その際に、当然工事のスケジュールも請負業者と確認しまして、来年1月16日までが工期だったと思うのですが、そこの工期には間に合うということで処理しております。工事進捗は毎週1回、定例会を行っておりますが、その中で、年末までに一定程度の工事が終わる見込みで今進めておるところでございます。

○伊藤教育長 私、たまたま有馬中学校に行った際には、水道局側はまだあるのですが、子どもたちが入る学校の校庭の門から出ると、足場がみんな取れていました。すごく明るい色、ライトブルーというか、ちょっとグリーンもかかったようなすごくきれいな色になったので、よく勉強ができるんだろうなと有馬中学校の生徒には期待しているところがございます。

○武井委員 いい影響が出ることを期待したいと思います。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等もないようですので、報告第27号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第3、報告第27号を承認いたします。

続いて、日程第4、報告第28号、令和7年度全国学力・学習状況調査の公表内容についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○教育部長 それでは、資料22ページをご覧ください。報告第28号、令和7年度全国学力・学習状況調査の公表内容についてご説明申し上げます。こちらは、令和7年度全国学力・学習状況調査の公表内容を決定したため、海老名市教育委員会教育長に対する事務委任等化する規則第4条第1項の規定により報告いたすものでございます。

詳細につきましては、麻生教育支援担当部長からご説明いたします。

○教育支援担当部長 では、23ページをご覧ください。1、趣旨でございます。令和7年度全国学力・学習状況調査における海老名市の調査結果を分析し、冊子としてまとめたため、別冊資料1のとおり公表するものです。

公表内容については別紙の結果でございます。

3の経過及び今後のスケジュールということで、検査を行って、11月4日に市結果説明会ということで、全19校の管理職及び研究等、学校の教員をお呼びして説明会を実施しました。本日、この結果冊子の内容をご承認いただいた後、12月5日に市のホームページに結果を公開する予定でございます。概要版、ダイジェスト版を使って説明しますが、LINEにおいて、全保護者へ、冊子のそのほかの部分についてはホームページにて公開する予定でございます。あと、市役所情報公開コーナーには紙ベースで冊子を配架する予定でございます。

それでは、別冊資料1をご覧くださいと思います。1枚めくっていただいて、横判になっているA4のカラー版がいわゆるダイジェスト版ということで、全保護者にLINEで添付して配布する予定の資料となっております。

まず、学力調査結果でございますが、小学校、中学校ともに今年は理科の調査が加わっていて、例年からプラス1教科ということで実施いたしました。小学校においては、国語、理科で全国を少し上回っている、算数については全国を少し下回っているという結果、中学校においては、これは例年もそうなのですが、各教科とも全国と比べて数値が上回っております。

1点、中学校の理科で分かりづらい部分ですが、IRTスコアというものがあります。今回、理科については、オンラインでのCBT調査が行われた関係で、生徒によって解いた問題が違うということで、単純に正答率の比較ではなくて、問題の難易度等を加味した、いわゆる一般的に偏差値のような数値を基に比較しているので、全国の公立校の数値が503に対して海老名市は518だったということで、こちらの理科についても上回っているという結果になっております。

児童生徒質問紙、生活習慣等について中学校、いわゆるクモグラフで表しておりますが、青が全国、赤が海老名市の結果です。これも例年とそれほど大きく変わることなく、課題及びできている部分については下を書いてあるとおりでございます。これらの結果を基にご家庭にお願いして協力をしていただきたいこと、そして、右下ですが、これも毎回結果と共にお知らせしておりますが、様々多くの教育予算を頂いて教育施策を進めておりますので、1から8までの項目で記しているところでございます。

続いて、3ページ、4ページについては、もう少し詳しく書いてある内容になっております。

そして、6ページ以降につきましては、小学校の国語、算数、理科、中学校では、国

語、数学、理科で、各教科について見開き2ページで担当指導主事がかなり時間をかけてそれぞれ協議し、教育長にご相談、ご指摘いただきながらまとめた分析結果です。そして指導の改善ということで、これはただ数字がどうこうというよりも、問題作成自体、国がこれから子どもたちにつけたい力が込められている。そんな意図が問題としてつくられておりますので、その結果を受けて、どういった授業改善に結びつけたらいいかということで、指導の改善に向けてということで、各教科ごとに記しており、このあたりを中心に、先ほど申し上げた説明会で学校の先生方に説明した次第でございます。

ずっと行って、20ページ以降、21ページからは児童生徒質問調査結果ということで、今年度につきましては項目を、基本的な生活習慣、2番目、規範意識・自己有用感、3つ目が学習習慣、4つ目が地域とのつながりということに絞って、経年変化及び全国との比較等に基づいてお示ししているところでございます。

海老名市ですと、もう何年も課題と言われている4番目の地域とのつながり、23ページの下でございますが、こちら経年変化を見てお分かりのように、令和3年度、4年度はコロナ禍の影響ではないかという全国的な分析もあるところですが、それ以降、小中ともかなり改善傾向にあるということで、特に中学校ではここ数年、総合的な学習や部活動で積極的に地域と関わって、地域と共に何かに取り組むというような活動が増えてきているので、そのあたりがよい結果になっているのかなと分析しているところでございます。

24ページは先ほどダイジェスト版にも書きましたご家庭での問題ということと、26ページ以降は先ほど申し上げた8つの教育施策について、予算面をお示しして、こういう形で支援していただいているというのを保護者にも知っていただくようなページのつくりになっています。

大変雑駁でございますが、全体としては以上です。

○伊藤教育長 ただいまの説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。

○武井委員 回答するまでにはすごい時間がかかっているように感じました。平均正答数と平均正答率で点数が近いところがあるので、そこは平均正答数が高いほうがいいのですよね。平均正答率が上がるというのはこの数字で見て分かるのですが、平均正答数を上げるとはなかなか難しいと思います。これからこういったことがもっと課題になると思うのですが、麻生教育支援担当部長としてはどういったことをお考えになっているのか、お

伺いしたいです。

○**教育支援担当部長** 特に小学校は全国と比べて同じぐらいの結果となっているのですが、初めて見たら、大人でもうわっと思ってしまうような量の出題になっています。そのため、頑張っって粘り強く最後まで解答する、途中で諦めない、そういった力も必要なのかなと考えています。中学生は日頃からテストで全体の問題、内容を見てからやるようなテクニック的なことを身につけていると思うのですが、小学校は恐らく素直に最初から順番に解答していくと思うので、その点は毎回我々も課題と感じています。そのテクニック的なことを教えることがいいのかどうかということも含めて、今後考えていきたいなと思っております。

○**武井委員** 分かりました。

○**伊藤教育長** 小学生は進めば進むほど手もつけていない子が結構いて、中学生は全国と比べても無回答率はすごく低いのです。かなり粘り強く最後までいくのですね。だからといって、テスト慣れさせるわけにもいきません。

○**武井委員** どちらがいいのですか。今後、受験で必要になると考えます。

○**伊藤教育長** 中学校に行ったら、みんなそうなるというのはあります。

○**武井委員** ここ数年、小学生たちが全国平均を上回ってきたのは何か理由があるのですか。

○**教育支援担当部長** 今の6年生の結果というのは1年から5年の積み上げなので、やはり地道な授業改善とか先生方のご努力があるなというように評価したいところです。

○**武井委員** だんだんそれが実ってきた感じですね。あと、基本的な生活習慣の中で、朝食と学習の関係性は非常に密接なのか、ご説明願えればと思います。

○**教育支援担当課長** 朝食を、毎日食べている、ほぼ食べている、あまり食べていない、食べていないの4項目に分けて、国語、算数、理科の3教科の正答率との相関関係を調査したところ、やはり毎日食べている、ほぼ食べている子たちのほうが正答率が高いという結果が出ています。

○**武井委員** そういう相関関係が分かってきているのですね。

○**教育支援担当課長** 朝食を食べていない子は正答率が低い傾向にあるので、毎日朝食を食べて学習を迎えたほうが、正答率が高いという結果が出ております。

○**伊藤教育長** ICTを毎日使っている子が高いかということ、そうではない。それを説明してください。

○教育支援担当課長 ICTの活用でも、毎日使っている、ほぼ使っている、あまり使っていない、使わないという子たちで、使っているからいいかということ、使っている子は高いのですが、あまり使っていないという子たちも正答率が高いという結果がでました。授業で使う目的等の話をしましょうということで、教員の皆さんにはお伝えしました。活用自体が悪いことではないので、目的に向かってしっかりと使えるようにしていきましょうという指導をしているところではあります。

○伊藤教育長 だから、適切にその場でうまく使っている子たちのほうが実は学力が高い。要するに、のべつ幕なしにそれを使うのではなくて、うまく活用している子のほうがいいということです。ネットで調べたほうが早いなど判断できる力もついているから、そういう子たちのほうが学力が上がっているのです。

○武井委員 勉強のアイテムとして使っているからですね。

○伊藤教育長 そうそう。ICTを進めている立場としては少し思うところがあります。

○武井委員 本当はたくさん使っている人のほうが正答率が高いほうがいいと思うのですが、そうではないのですね。

○伊藤教育長 でも、適切に使うということは大事なかもしれないというのはあります。そういったことのクロス集計で学力の到達を見るのも面白いといえれば面白いんだよね。でも、朝食をずっと食べているから勉強ができるかどうかというのは、また別の問題なので。傾向としてはそうなのですが。

○武井委員 食べていないほうが頭はさえるような気がするのですが、そうでもないのですね。

○教育支援担当課長 小学生は、朝食を食べないと、気力が落ちたりします。家庭環境とも関係しているのかなと思うところがあります。

○藤吉委員 朝起きて、しっかりと朝食を食べてくるというのは、家庭環境が大きいのではないかと思いますよ。

○武井委員 私は朝食を食べていないので、これを見ていて、よろしくないなと思っているのですが。

○藤吉委員 頭がさえないですよ。

○伊藤教育長 朝食を食べていなくても、おいしいイチゴを作ればね。

○武井委員 でも、ファスティングではないですが、12時間とか16時間空くと、体は結構元気になるのですよ。欧米なんかはファスティングをやっている人がたくさんいます。

朝か夜を抜いてしまって、活性細胞が増えるし、免疫細胞も上がるのです。でも、1個問題なのはセロトニンが出ない。朝食を食べたほうがセロトニンが出るので、学業にはいいのです。足りない人はちょっと攻撃的な性格になるといいます。

○藤吉委員 小学校の国語ですが、全国もそうですが、海老名市は読むことが結構低いです。これは読書量が少し減っているとか、そういうことは全体的な感じから影響があるんでしょうか。

○教育支援担当部長 データとしては、読書をしない子がかなりいました。

○藤吉委員 だから、読むことが低いということは、結局読話術なのですよね。非常にたくさんさんの文章で、読むのに時間がかかって、回答もできないのかなと。自分の経験からも、いきなり文章が出てしまうと、それだけでやめてしまいましたが、読むことに慣れていない、それも活字離れがあるのかなと思いました。

○伊藤教育長 藤吉委員も小学校の教員だったから、小学校でテストをするときには自分が習った文章ではないですか、初めての文章ではないではないですか。だから、期末テストのときは時々あるのですが、この問題は初見の文章だったのです。それも長々と文章があるので、それをしっかりと読み取れるかどうかがすごく大事なのです。

○藤吉委員 やはりふだんからいろいろな読書に親しんでいないと、出てきただけで嫌になってしまうと思うのです。活字離れというか、今は漫画も縦になっていますよね。本を読んでいるとなく思ったのです。

○伊藤教育長 今、ぼちっと押したら読んでくれるから。

○武井委員 確かに。音声が出ますね。

○海野委員 もし傾向みたいなものがあつたらなと思ったのですが、全国と比べた学力として、小学生のほうは横ばい、平均的に定着した感じなのですが、中学校になるとすごく上がっているではないですか。生徒質問調査の最後では、規範意識・自己有用感で「自分には、いいところがあると思いますか」という質問には、小学生は割とみんな素直に、「俺はあるぜ」「僕、頑張っている」のようなところがあるが、中学生になると少し低い割に学習時間に関しては中学生も、「私、やっています」となっています。中学校になると、受験も関わってきて、それだけ勉強を頑張っているということが結果に表れているというのがあるのですが、小学校と中学校のそういう傾向的があるのか教えてください。

○教育支援担当課長 中学校は、おっしゃったように受験等があるので、③の学習習慣においては「塾・インターネットを含む、一日当たり1時間以上学習している割合」という

ようにありますので、そういったことも含めて何らか反映されているものであると思っています。学校として、小学校、中学校とも、本当に学校の先生方の取組等で向上している部分があると思います。やはりそういった学習面、自分で頑張ったところが評価されたり、先生方に認められたり、家庭の中でも認められたりというところで自己有用感、自己肯定感にもつながっていく部分はあると思います。ただ、自己有用感「自分には、よいところがありますか」とあります。そのように認められてよいと思う反面、自己有用感を持ってない子たちが一部いまして、自己有用感で先生たちには認められていると思っているのですが、自分の中の肯定感は低い子たちがいるのです。そういった一部のお子さんたちがいるので、そういったお子さんに、先生方、もちろん頑張って声かけしていただくのと同時に、自分の中でもやはり学習のために頑張った、活躍できる場をつくっていきましょうということは先生方にもお伝えしているところです。そういったところも課題として持っているので、声をかけていこうと思っています。

○伊藤教育長 中学生は、前はもっと低かったから、改善傾向にはあるんだよね。ここ数年で結構改善はしていますね。

○海野委員 自分で、「私、いいところがあるのです」とはなかなか言いづらいし、書きづらい部分はあるのかな。

○伊藤教育長 中学生は、下手にその気にさせても、彼らのほうが冷静だから、しっかりと比較して見るんだよね。

○武井委員 よく調子に乗ってと言うが、本当は調子に乗せたほうが一番いいのですよね。ポテンシャルを発揮するから。

○教育支援担当課長 今の有用感でいいますと、私も小学校の教員なのですが、素直に声をかけると、頑張ろうと前向きになってやる反面、中学校はそれだけ年齢も上がってきて、自分は冷静に分析したいのにといい子たちもいると思うのです。ただ、いろいろな大人の声かけというのはすごく大事だと思っていて、先生方や学校関係者、カウンセラー等、いろいろな方々の声かけで、先ほど地域のつながりということがありましたが、地域の中で、市民まつりや総合的な学習で田んぼに関わったり、かかし祭りの運営等にも関わって、そういう地域の方々からの声かけが人のためになっている、自分の力でこういったものをもらって、こういった力がつくるんだというようなことも、中学生ならではの学べる場所があると思います。だから、そういった地域も共に、一緒にやっていくということを進めていただいて、来年度は全国を上回ることを期待しています。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ホームページ等の公開、保護者の公開は、今日の皆さんの承認をいただいで公開となりますのでご承知おきください。

ご質問等もないようですので、報告第28号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第4、報告第28号を承認いたします。

続いて、日程第5、議案第30号は個人情報に関する案件であります。海老名市教育委員会会議規則第18条第1項第3号に該当することから、会議を非公開としたいと思えます。

それでは、会議の非公開について採決を行います。日程第5について、会議を非公開とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第5を非公開といたします。

本日は傍聴者がいませんので、このまま引き続き進めます。

(秘 密 会 開 催)

○伊藤教育長 この件について、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第5、議案第30号を原案のとおり可決いたします。

これをもって非公開を解きます。

(秘 密 会 閉 会)

○伊藤教育長 傍聴人はございませんので、以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会11月定例会を閉会いたします。